

11 部門報告書

21 期 11 部門は、主に日韓ソーシャル・イノベーション比較研究、およびグリーン社会とソーシャル・イノベーション事例研究を進めてきました。また、人文科学研究所の公開講演会として研究発表を行う機会をもつことができました。2024 年度の成果報告会では、グリーン社会とソーシャル・イノベーション研究についてとりあげています。

◆研究会の目的と方法

本研究会の目的は、市民一人一人が 2030 年、2050 年の目標に向かってデザインするグリーン社会に自らが提案し、実行するためのソーシャル・イノベーションとは何かを探索することです。そのため、21 期においては 15 回の研究会、ワークショップ、座談会、沖永良部島へのフィールドリサーチなど複数の手法をとり、主に事例研究を実施しました。研究会はできるだけ公開とし多様な立場の参加者とディスカッションすることを重視しました。

ソーシャル・イノベーションとは、革新的な社会課題解決に加えて、すべての人のウェルビーイングを高めるためその新たなアイデアを社会に普及させること、と位置づけられています。そこで、ゲスト講師である社会イノベーターたちは何を課題としてどのような社会を目指してきたのか、そのための手段は何か、そのアイデアや実装をどのように普及させようとしているのかを分析することからグリーン社会の概念および価値を見出すことを目指しました。

◆研究会テーマ

研究会でとりあげたテーマは、人と自然との関わりに着目した内容が中心となりました。具体的には以下のように多様な課題に取り組む社会起業家や研究者が発表しました。魚庭の海再生の試み、京丹後での海洋プラスチックの取組み、河川の氾濫と分散型水管理を推進するグリーンインフラ、歴史を生かした防災街づくり手法（天水バケツプロジェクト）、都市近郊の山林の活用と自然共生サイト/OECM、ゲランとユネスコの協働事業 Women for Bees などです（表 1）。そして、アイヌと北米ムスクアムの先住民族の博物館など若手研究者の発表も含みました。

◆研究会成果と今後

これらの議論からグリーン社会の定義には、循環、共生、社会デザインなど注目されるキーワードが導出されました。地域資源の循環、そして人と生き物との共生、さらには、地域の歴史や文化を改めて再評価する視点で描く社会デザインです。さらに、グリーン社会を創造するにあたって新たな価値観をいかに普及させることができるのか、といった実践的手法を整理したところ、3つのキーワードを抽出することができました。

このように、3年間 15 回の研究会からグリーン社会とソーシャル・イノベーション研究は未来のライフスタイルを創造することであり、ローカルからイノベーションを起こしう

ることの可能性が再確認されました。グリーン社会は、人と人、自然と人との関係双方から維持できる地域や社会の状態、その状態を支える市民一人一人のボトムアップを意味するのではないかと、という仮説がみえてきました。今後の研究について市民の意識と行動にその価値観を内在化させる方法、継続しうる方法や教育プログラムを今後も検討していく方向性となりました。ソーシャル・イノベーションのモデル化（対象、手法、目的、目標）を探索するため、社会実験、フィールドリサーチを含む手法で比較研究を継続していきます。

表1 グリーン社会とソーシャル・イノベーション研究会のテーマ一覧

	事業名/研究テーマ	グリーン社会
1	グリーン社会にむけて自らが担う SI を考える：エネルギー政策、ESG 経営、地域循環型農業。ジオファーム八幡平	地域資源の循環型経済社会
2	グリーン社会をデザイン～国際機関欧州中東6か国の経験	挑戦と失敗を経験しうる社会
3	グリーンインフラストラクチャー	あまみず社会
4	バックキャストで考える持続可能な社会	制約を受容した生活スタイルの持続可能な社会
5	2030年のライフスタイル調査	
	UP HOME WORKs	
	カナメファーム	循環型地域資源
6	ソーシャル・イノベーションにおける課題整理	
7	京丹後での海洋プラスチックの取組み	持続可能な海洋環境
8	天水バケツプロジェクト：歴史を生かした防災街づくり手法	歴史を生かした街づくり
9	企業が向き合う持続可能な地域のあり方	地域と企業の共創
10	魚庭（なにわ）の海再生の試み	豊かな魚庭の海
11	若手研究：アイヌと北米ムスクアムの先住民族の博物館。	
	最貧国ニカラグアの村の発掘作業とコミュニティ・ミュージアム、ブラジルのセラード開発とアグロエコロジー運動	
12	人と生き物との関わりをリ・スキリング/共生科学を考える	自然を敏感に感じ取る生き方の共生社会
13	「自然共生サイト/OECM」と生物多様性	様々な領域の境界を越えた相互循環
14	ゲランとユネスコの協働事業 Women for Bees を事例に	人と生き物の多様性
15	「グリーン社会のデザイン」 研究大会	市民主導による社会デザイン